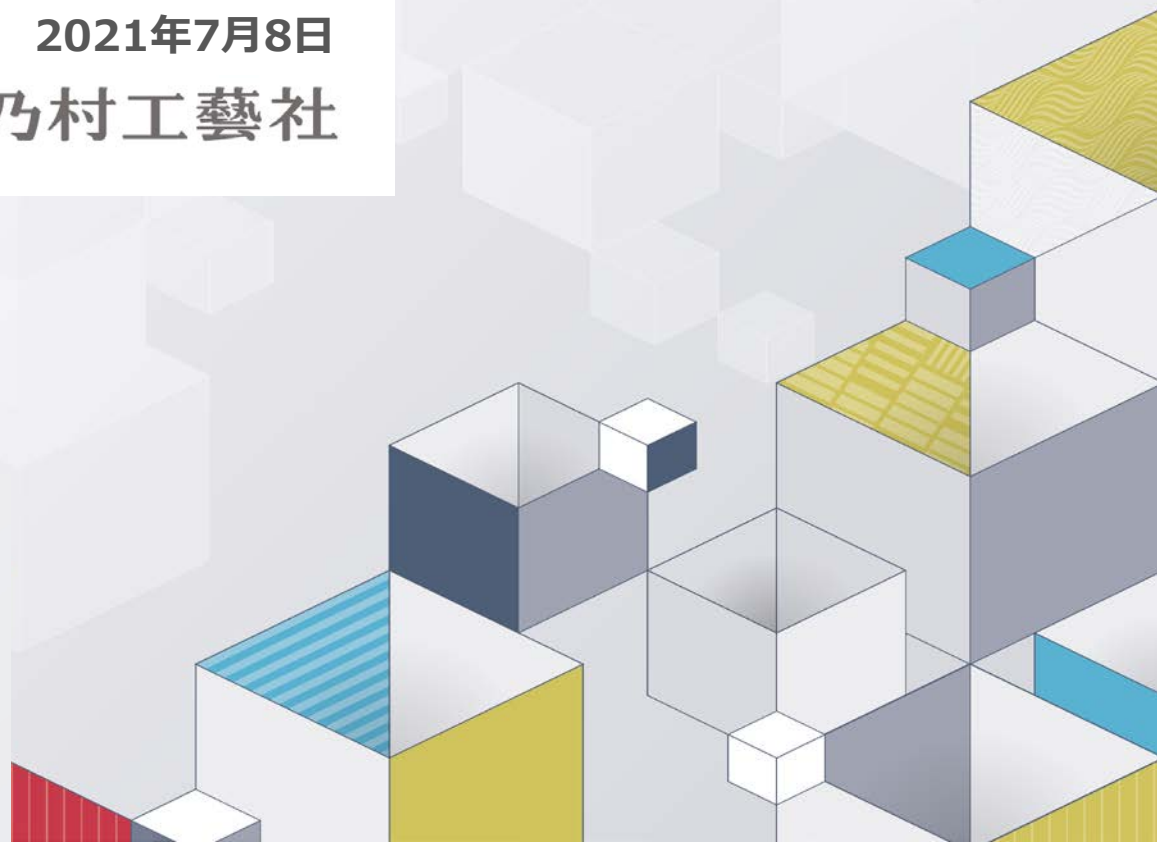


**2021年度
第1四半期決算説明資料**

2021年7月8日

株式会社 **乃村工藝社**



1. 2021年度 第1四半期決算概要
2. 2021年度 第1四半期決算補足資料
3. 当社グループの概要

将来の見通しに関する注意事項

記載されている業績予想などの将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報にもとづき、当社が合理的と判断したものです。潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の成果や業績は記載の予想と異なる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

1. 2021年度 第1四半期決算概要

2021年度第1四半期 連結業績ハイライト

- 新型コロナウイルス感染症の影響にともなう経済活動停滞の長期化により、前年同期に比べ大型案件の完工が減少、プロジェクトの延期・中止の影響もあり、減収・減益となった。

(百万円)	2020年度		2021年度		前年同期比
	1 Q	対売上高 構成比	1 Q	対売上高 構成比	
売上高	25,997	100.0%	20,785	100.0%	△5,211 (△20.0%)
売上総利益	5,442	20.9%	3,861	18.6%	△1,580 (△29.0%)
営業利益	1,392	5.4%	93	0.4%	△1,299 (△93.3%)
経常利益	1,439	5.5%	165	0.8%	△1,274 (△88.5%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	766	3.0%	14	0.1%	△752 (△98.2%)

売上高・売上総利益

①売上高

	2020年度1Q	2021年度1Q	前年同期比
売上高	25,997百万円	20,785百万円	△5,211百万円 (△20.0%)

- 新型コロナウイルス感染症の影響にともなう緊急事態宣言の延長等により経済活動が停滞、商業施設、余暇施設等の大型案件の改装需要が減少したことに加え、各種催事や展示会・イベントの延期・中止の影響もあり減収となった。

②売上総利益

	2020年度1Q	2021年度1Q	前年同期比
売上総利益	5,442百万円	3,861百万円	△1,580百万円 (△29.0%)
(売上総利益率)	20.9%	18.6%	△2.3ポイント

- 売上総利益率は、専門店、複合商業施設等の商業施設分野、広報・販売促進市場、余暇施設市場などの売上高の減少にともない人件費、経費負担比率が増加したことにより2.3ポイント低下。

営業利益

① 販売管理費

	2020年度1Q	2021年度1Q	前年同期比
人件費	2,486百万円	2,445百万円	△ 40百万円 (△ 1.6%)
経費	1,562百万円	1,322百万円	△240百万円 (△15.4%)
販売管理費 (販売管理費比率)	4,049百万円 15.5%	3,767百万円 18.2%	△281百万円 (△ 6.9%) +2.7ポイント

■ 販売管理費は、人件費・経費削減策の実施により前年同期に比べ6.9%減少したが、売上高の減少にともない売上高販売管理費比率は、2.7ポイント上昇し18.2%となった。

② 営業利益

	2020年度1Q	2021年度1Q	前年同期比
営業利益	1,392百万円	93百万円	△1,299百万円 (△93.3%)

■ 営業利益は、販売管理費が減少したものの、売上高の減少にともなう売上総利益の減少および、売上総利益率低下の影響により、前年同期に比べ93.3%減少し大幅な減益となった。

経常利益

① 営業外損益

	2020年度1Q	2021年度1Q	前年同期比
営業外収益	54百万円	75百万円	+21百万円
営業外費用	7百万円	3百万円	△3百万円

- 営業外収益は、受取配当金の増加などにより21百万円の増加。
- 営業外費用は、為替差損の減少などにより3百万円の減少。

② 経常利益

	2020年度1Q	2021年度1Q	前年同期比
経常利益	1,439百万円	165百万円	△1,274百万円 (△88.5%)

- 営業利益の減少にともない減益。

四半期純利益

① 特別損益

	2020年度1Q	2021年度1Q	前年同期比
特別利益	－	1百万円	+1百万円
特別損失	54百万円	7百万円	△46百万円

- 特別損益は当1Qに特筆すべき事項はなく、前年同期はコロナ感染症拡大の影響にともなう飲食・物販事業の店舗臨時休業期間中の固定費を特別損失に計上。

② 法人税等・四半期純利益

	2020年度1Q	2021年度1Q	前年同期比
法人税等	614百万円	145百万円	△469百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	766百万円	14百万円	△752百万円 (△98.2%)

- 法人税等は、利益減にともない減少。
- 四半期純利益は、経常利益の減少にともない減益。

市場分野別の売上高

- 科学博物館、歴史博物館等の大型案件を手掛けた博物館・美術館市場、オフィスの新装・改装需要のあった、その他市場が増収となった。
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による都市型商業施設、リアル空間における展示会、PR施設、およびホテル、テーマパークなどの大型案件の完工減少および顧客プロジェクトの延期・中止等の影響により、専門店市場、複合商業施設市場、広報・販売促進市場、余暇施設市場が大幅な減収となった。

	2020年度 1Q 売上高		売上 総利益率	2021年度1Q 売上高		売上 総利益率
	金額(百万円)	前年同期比		金額(百万円)	前年同期比	
専門店市場	7,676	+9.2%	19.6%	6,199	△19.2%	↓15.4%
百貨店・量販店市場	911	△36.2%	23.0%	758	△16.8%	↓21.6%
複合商業施設市場	3,263	△2.9%	29.3%	1,837	△43.7%	↓17.8%
広報・販売促進市場	2,671	△47.0%	21.5%	1,742	△34.8%	↓19.0%
博物館・美術館市場	3,322	+35.2%	23.0%	4,050	+21.9%	↓22.9%
余暇施設市場	4,234	△16.4%	16.2%	1,993	△52.9%	↑16.5%
博覧会・イベント市場	147	△54.6%	24.4%	297	+101.8%	↓12.6%
その他市場	3,673	△40.2%	19.1%	3,733	+1.6%	↑20.5%
ディスプレイ事業 小計	25,900	△16.1%	21.0%	20,611	△20.4%	↓18.6%
飲食・物販事業	96	△84.8%	8.1%	173	+79.6%	↑15.0%
合 計	25,997	△17.4%	20.9%	20,785	△20.0%	↓18.6%

市場分野別の受注高・受注残高

- 受注高は、海外ブランド、スポーツブランド、アパレルブランド店舗などの需要が増加した専門店市場、民族歴史館、ビジターセンターなどの受注があった博物館・美術館市場、ホテル、テーマパークの大型案件を受注した余暇施設市場が増加し、前年同期に比べ32.2%増加となった。
- 受注残高は、百貨店・量販店市場、余暇施設市場における受注が増加したものの、複合商業施設市場、広報・販売促進市場における受注高の減少および大型商業施設やショールーム等の大型案件が売上計上されたことにより、前年同期に比べ14.0%の減少。

	2020年度 1Q		2021年度1Q		受注高 前年同期比	受注残高 前年同期比
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)		
専門店市場	4,401	7,035	5,560	6,606	+26.3%	△6.1%
百貨店・量販店市場	324	960	1,213	1,547	+274.1%	+61.0%
複合商業施設市場	2,347	5,969	876	2,262	△62.7%	△62.1%
広報・販売促進市場	1,845	9,984	743	1,924	△59.7%	△80.7%
博物館・美術館市場	3,629	8,368	4,374	9,229	+20.5%	+10.3%
余暇施設市場	1,013	7,405	5,649	9,232	+457.3%	+24.7%
博覧会・イベント市場	1,750	10,741	2,969	14,862	+69.7%	+38.4%
その他市場	6,574	16,482	7,547	11,943	+14.8%	△27.5%
合 計	21,887	66,947	28,936	57,607	+32.2%	△14.0%

2021年度 連結業績予想

- 新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動停滞が想定以上に長期化している環境下において、当初見込んでいた多くのプロジェクトの計画が変更となる状況となった。
- グループ会社事業において、当初想定していた催事・装飾事業の延期や中止、飲食・物販事業における臨時休業などにともない当初予想に比べ年間25億円程度の減収、商業施設の臨時休業などによりアパレル店舗等の新装・改装計画、各種展示会やイベント計画の延期・中止などにより年間40～50億円程度の減収、さらに下期に見込んでいた東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を機に計画されていた企業、団体による各種周辺プロジェクトの中止にともなう売上高が25億円程度減少する見込みであることから、第2四半期・通期業績予想を修正。

2021年度 (百万円)	修正業績予想		期初業績予想		前期実績 (2020年度)	
	2Q	通期	2Q	通期	2Q	通期
売上高	43,000	105,000	48,000	115,000	53,720	107,736
営業利益	0	2,500	1,500	5,000	2,414	4,882
経常利益	50	2,550	1,550	5,100	2,487	5,010
親会社株主に帰属 する当期純利益	20	1,700	1,000	3,300	1,407	3,071
1株当たり当期純利益	0.18円	15.28円	8.99円	29.66円	12.65円	27.61円

2. 2021年度 第1四半期決算補足資料

【前期末比較】連結貸借対照表

		2020年度末		2021年度1Q末				ポイント
		金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	前期末比		
資 産	流動資産	66,397	81.0%	59,138	79.3%	△7,259	△10.9%	仕掛増にともない、たな卸資産が増加した一方で、売掛金の回収が進んだことなどにより72億59百万円減少。
	固定資産	15,611	19.0%	15,435	20.7%	△176	△1.1%	保有株式の時価増加にともない、投資有価証券が増加したものの、減価償却の実施などにより1億76百万円減少。
	資産合計	82,009	100.0%	74,573	100.0%	△7,436	△9.1%	
負 債 純 資 産	流動負債	29,207	35.6%	24,427	32.8%	△4,779	△16.4%	前受金が増加したが、支払による支払手形および買掛金の減少などにより47億79百万円減少。
	固定負債	5,272	6.4%	5,227	7.0%	△45	△0.9%	退職金の支払いなどにより45百万円減少。
	負債合計	34,480	42.0%	29,655	39.8%	△4,824	△14.0%	
	純資産	47,529	58.0%	44,918	60.2%	△2,611	△5.5%	配当金の支払いなどにより26億11百万円減少。
	負債純資産合計	82,009	100.0%	74,573	100.0%	△7,436	△9.1%	

【前年同期比較】連結損益計算書

第1四半期	2020年度		2021年度				ポイント
	金額 (百万円)	対売上高 構成比	金額 (百万円)	対売上高 構成比	前年同期比		
売上高	25,997	100.0%	20,785	100.0%	△5,211	△20.0%	専門店市場、複合商業施設市場、広報・販売促進市場、余暇施設市場の売上高が大きく減少し減収。
売上総利益	5,442	20.9%	3,861	18.6%	△1,580	△29.0%	売上高の減少にともない総利益が減少、総利益率は売上減による人件費・経費比率の上昇より2.3ポイント低下。
販売管理費	4,049	15.5%	3,767	18.2%	△281	△6.9%	コスト削減策の実施により2億81百万円の減少。
営業利益	1,392	5.4%	93	0.4%	△1,299	△93.3%	販売管理費は抑制されたものの、売上減による売上総利益の減少により減益。
経常利益	1,439	5.5%	165	0.8%	△1,274	△88.5%	営業利益の減少により減益。
特別利益	—	—	1	0.0%	+1	—	
特別損失	54	0.2%	7	0.0%	△46	△86.3%	
親会社株主に帰属する 四半純利益	766	3.0%	14	0.1%	△752	△98.2%	経常利益の減少により減益。

【前年同期比較】市場分野別 売上高・売上総利益率

第1四半期	2020年度			2021年度			ポイント
	売上高		売上 総利益率	売上高		売上 総利益率	
	金額 (百万円)	前年 同期比		金額 (百万円)	前年 同期比		
専門店市場	7,676	+9.2%	19.6%	6,199	△19.2%	↓15.4%	海外ブランド、スポーツ用品店舗などを手掛けたが、店舗改装需要が減少したことにより減収。
百貨店・量販店市場	911	△36.2%	23.0%	758	△16.8%	↓21.6%	百貨店の各種催事、改装案件が減少したことなどにより減収。
複合商業施設市場	3,263	△2.9%	29.3%	1,837	△43.7%	↓17.8%	大型商業施設の改装需要の減少にともない大幅な減収。
広報・販売促進市場	2,671	△47.0%	21.5%	1,742	△34.8%	↓19.0%	電機、自動車メーカーなどの展示会イベントの延期・中止により減収。
博物館・美術館市場	3,322	+35.2%	23.0%	4,050	+21.9%	↓22.9%	科学博物館、歴史博物館などを手掛け増収。
余暇施設市場	4,234	△16.4%	16.2%	1,993	△52.9%	↑16.5%	ホテル、テーマパークの大型案件の減少により減収。
博覧会・イベント市場	147	△54.6%	24.4%	297	+101.8%	↓12.6%	中小規模の公共イベント案件が増加し増収。
その他市場	3,673	△40.2%	19.1%	3,733	+1.6%	↑20.5%	企業オフィスの環境演出等を手掛け増収。
ディスプレイ事業 小計	25,900	△16.1%	21.0%	20,611	△20.4%	↓18.6%	
飲食・物販事業	96	△84.8%	8.1%	173	+79.6%	↑15.0%	休業対応をしたものの、前年同期に比べ増収。
合計	25,997	△17.4%	20.9%	20,785	△20.0%	↓18.6%	

【前年同期比較】市場分野別 売上高・受注高・受注残高

(百万円)

第1四半期	2020年度	2021年度	前年同期比	
■ 専門店市場				
売上高	7,676	6,199	△1,477	△19.2%
受注高	4,401	5,560	+1,158	+26.3%
受注残高	7,035	6,606	△429	△6.1%
■ 百貨店・量販店市場				
売上高	911	758	△152	△16.8%
受注高	324	1,213	+889	+274.1%
受注残高	960	1,547	+586	+61.0%
■ 複合商業施設市場				
売上高	3,263	1,837	△1,425	△43.7%
受注高	2,347	876	△1,471	△62.7%
受注残高	5,969	2,262	△3,707	△62.1%
■ 広報・販売促進市場				
売上高	2,671	1,742	△929	△34.8%
受注高	1,845	743	△1,101	△59.7%
受注残高	9,984	1,924	△8,060	△80.7%

(百万円)

第1四半期	2020年度	2021年度	前年同期比	
■ 博物館・美術館市場				
売上高	3,322	4,050	+728	+21.9%
受注高	3,629	4,374	+744	+20.5%
受注残高	8,368	9,229	+861	+10.3%
■ 余暇施設市場				
売上高	4,234	1,993	△2,241	△52.9%
受注高	1,013	5,649	+4,636	+457.3%
受注残高	7,405	9,232	+1,827	+24.7%
■ 博覧会・イベント市場				
売上高	147	297	+150	+101.8%
受注高	1,750	2,969	+1,219	+69.7%
受注残高	10,741	14,862	+4,121	+38.4%
■ その他市場				
売上高	3,673	3,733	+59	+1.6%
受注高	6,574	7,547	+973	+14.8%
受注残高	16,482	11,943	△4,538	△27.5%

【四半期推移】 業績サマリー

(百万円)

	2020年度				2021年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	25,997	27,722	18,442	35,573	20,785			
売上総利益	5,442	4,917	3,195	7,518	3,861			
売上総利益率	20.9%	17.7%	17.3%	21.1%	18.6%			
販売管理費	4,049	3,895	4,081	4,164	3,767			
販売管理費比率	15.5%	14.1%	22.1%	11.7%	18.2%			
営業利益（損失）	1,392	1,021	△885	3,353	93			
営業利益率	5.4%	3.7%	－	9.4%	0.4%			
経常利益（損失）	1,439	1,047	△848	3,372	165			
経常利益率	5.5%	3.8%	－	9.5%	0.8%			
親会社株主に帰属する 四半期純利益（損失）	766	640	△668	2,332	14			
親会社株主に帰属する 四半期純利益率	3.0%	2.3%	－	6.6%	0.1%			
受注高	21,887	21,541	23,207	18,677	28,936			
受注残高	66,947	60,961	65,986	49,283	57,607			

【四半期推移】 市場分野別 売上高

(百万円)

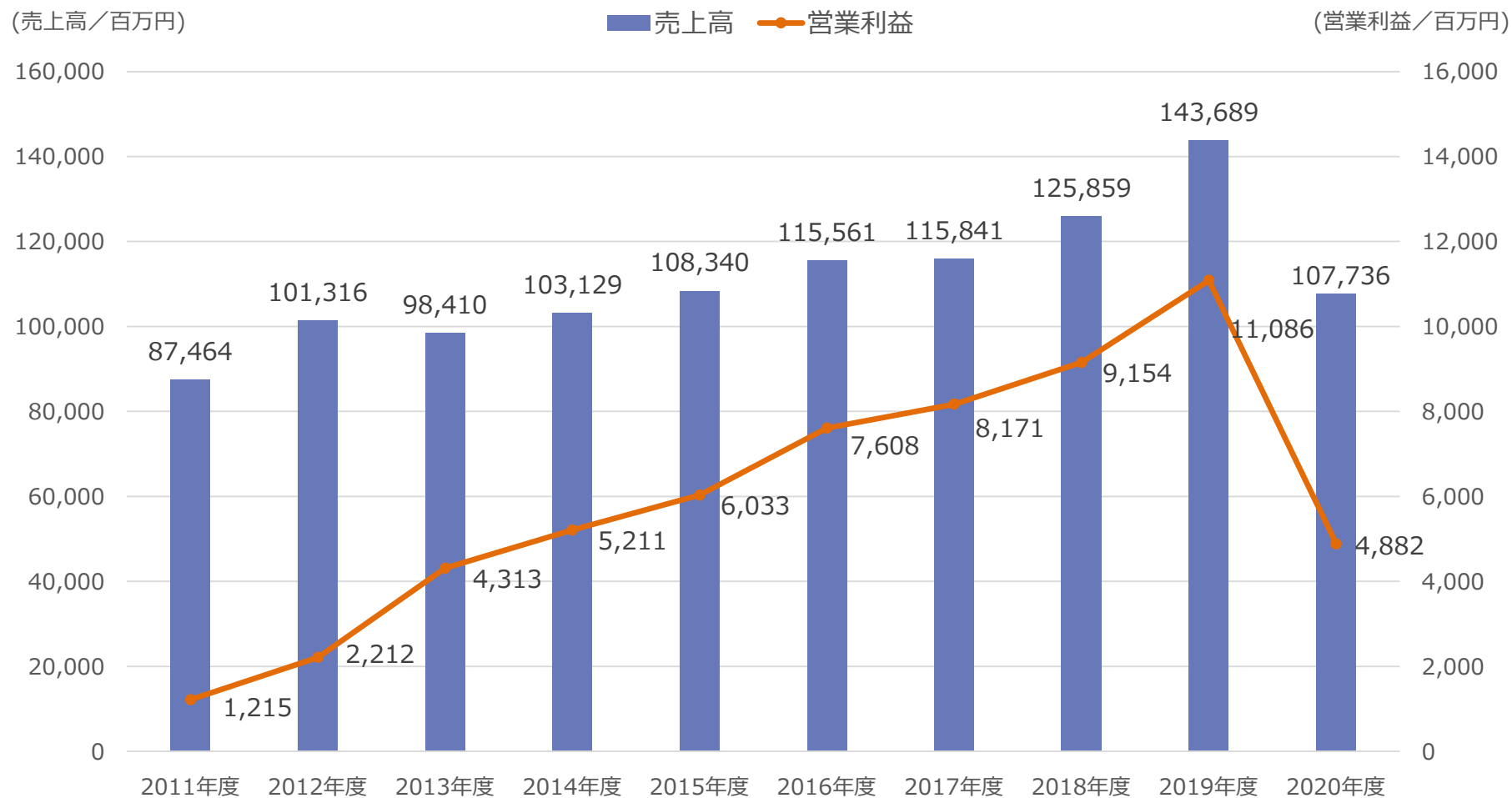
	2020年度				2021年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
専門店市場	7,676	7,107	4,909	5,798	6,199			
百貨店・量販店市場	911	687	905	1,017	758			
複合商業施設市場	3,263	3,409	2,082	3,281	1,837			
広報・販売促進市場	2,671	6,303	1,746	4,315	1,742			
博物館・美術館市場	3,322	1,396	906	2,659	4,050			
余暇施設市場	4,234	2,257	2,273	2,895	1,993			
博覧会・イベント市場	147	770	379	1,157	297			
その他市場	3,673	5,594	4,975	14,255	3,733			
ディスプレイ事業 小計	25,900	27,527	18,179	35,380	20,611			
飲食・物販事業	96	195	262	192	173			
合 計	25,997	27,722	18,442	35,573	20,785			

【四半期推移】 市場分野別 受注高・受注残高

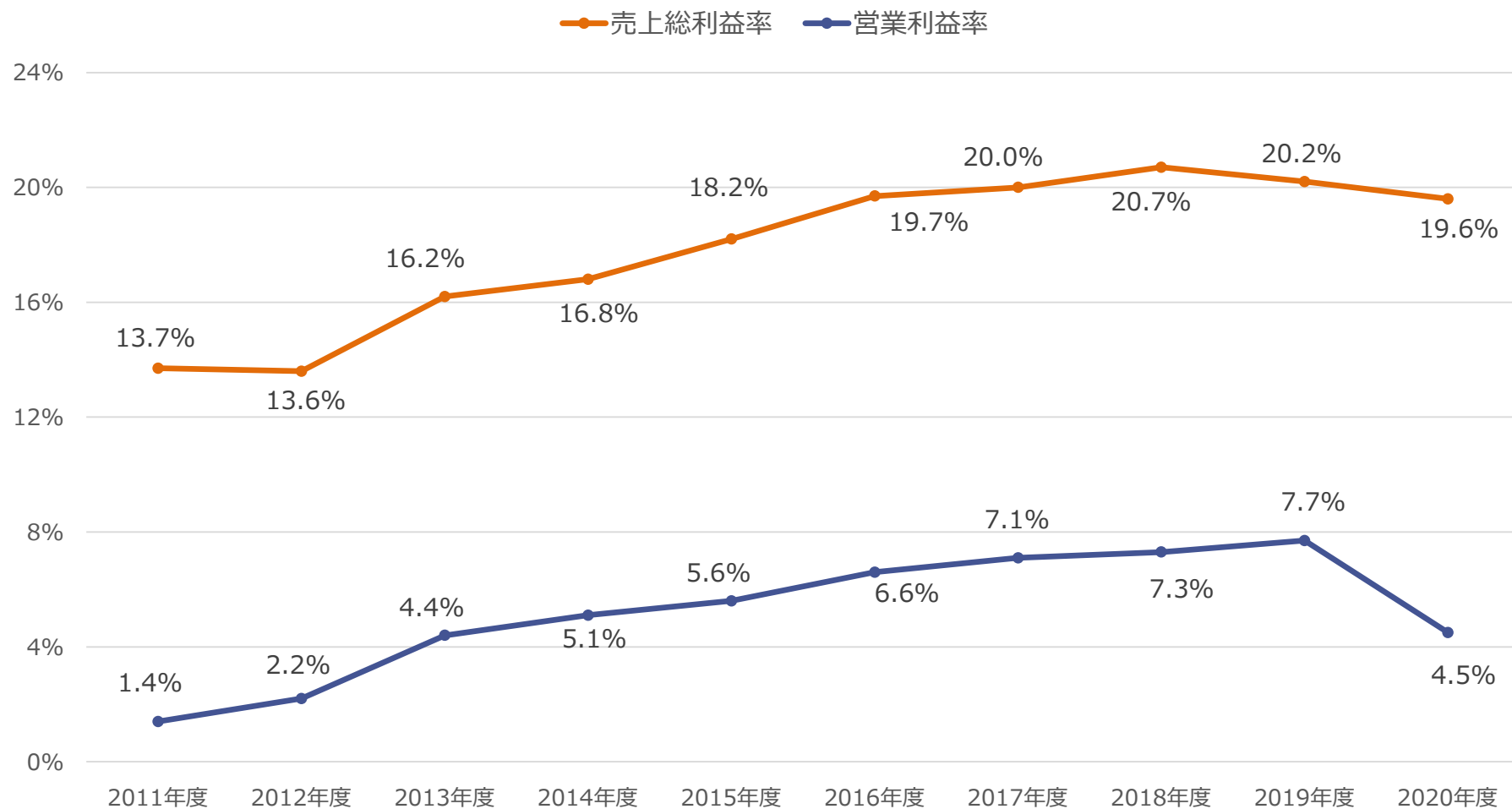
(百万円)

	2020年度				2021年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
■ 受注高								
専門店市場	4,401	4,757	6,359	6,908	5,560			
百貨店・量販店市場	324	563	737	1,441	1,213			
複合商業施設市場	2,347	1,719	2,650	1,656	876			
広報・販売促進市場	1,845	2,325	1,921	1,057	743			
博物館・美術館市場	3,629	2,230	1,411	1,857	4,374			
余暇施設市場	1,013	2,371	2,503	722	5,649			
博覧会・イベント市場	1,750	983	2,122	651	2,969			
その他市場	6,574	6,589	5,502	4,381	7,547			
合計	21,887	21,541	23,207	18,677	28,936			
■ 受注残高								
専門店市場	7,035	4,684	6,134	7,245	6,606			
百貨店・量販店市場	960	836	668	1,091	1,547			
複合商業施設市場	5,969	4,280	4,848	3,223	2,262			
広報・販売促進市場	9,984	6,006	6,180	2,922	1,924			
博物館・美術館市場	8,368	9,202	9,707	8,905	9,229			
余暇施設市場	7,405	7,519	7,749	5,575	9,232			
博覧会・イベント市場	10,741	10,953	12,696	12,190	14,862			
その他市場	16,482	17,477	18,002	8,128	11,943			
合計	66,947	60,961	65,986	49,283	57,607			

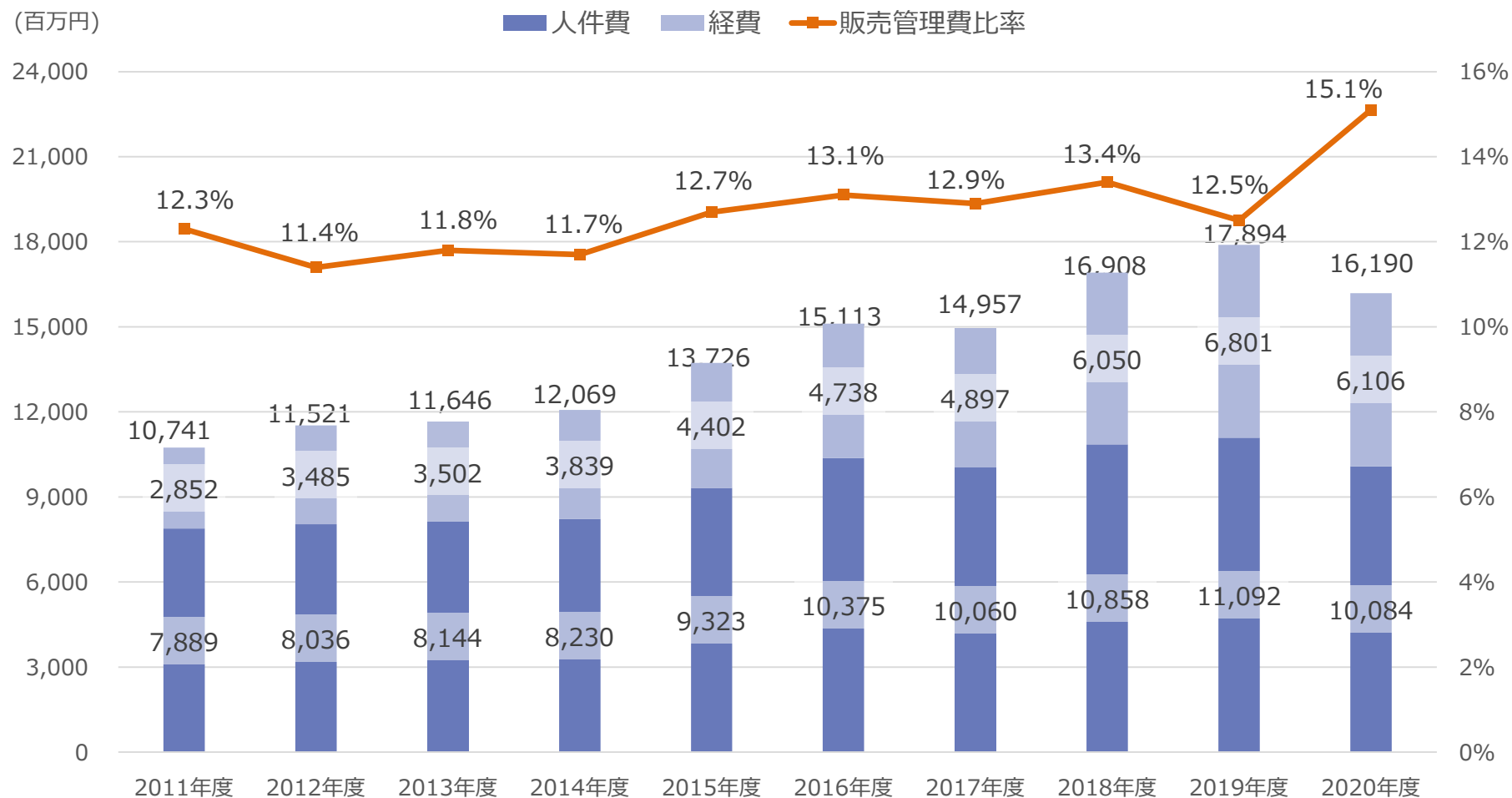
【通期推移】 売上高・営業利益



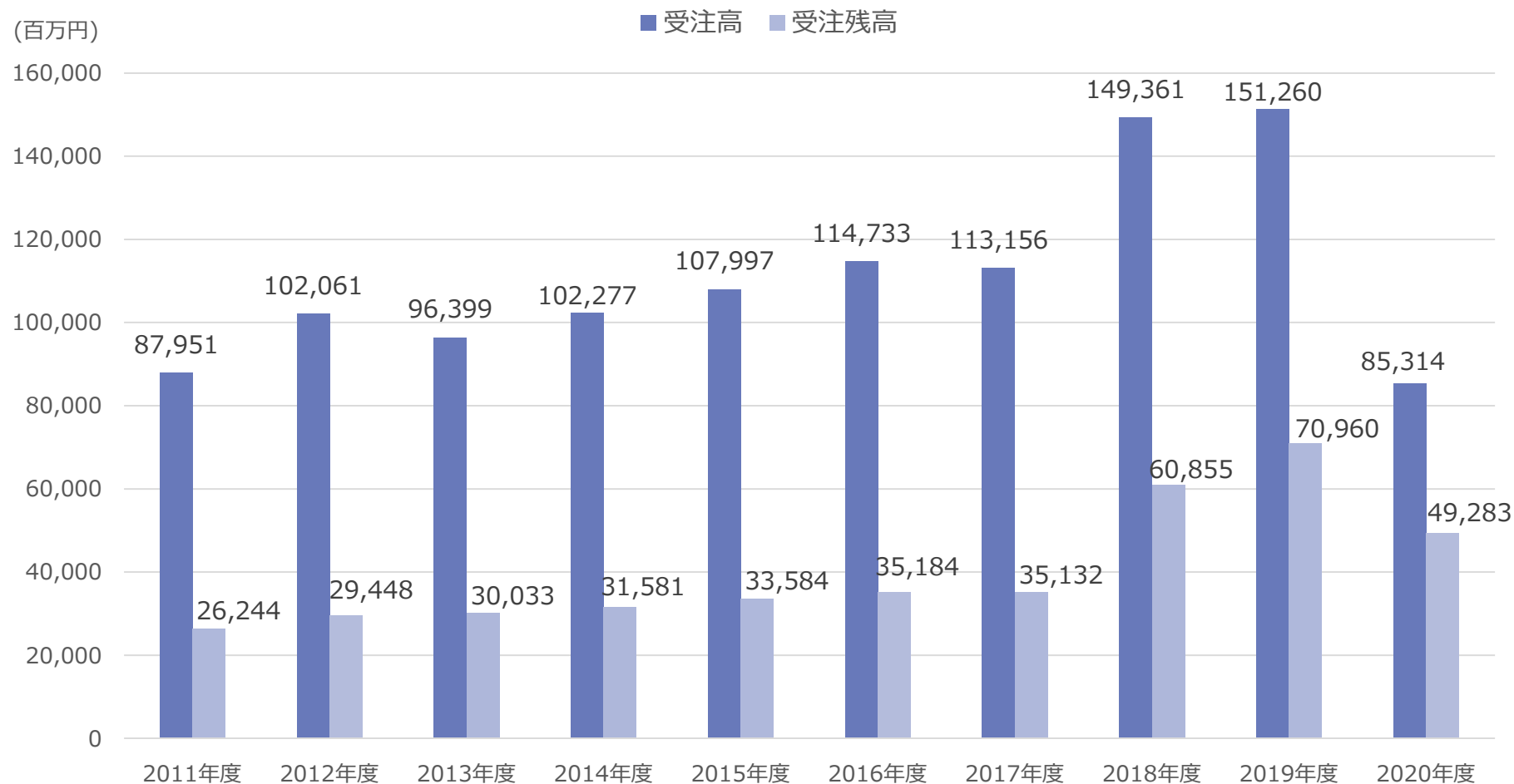
【通期推移】 売上総利益率・営業利益率



【通期推移】 販売管理費・販売管理費比率

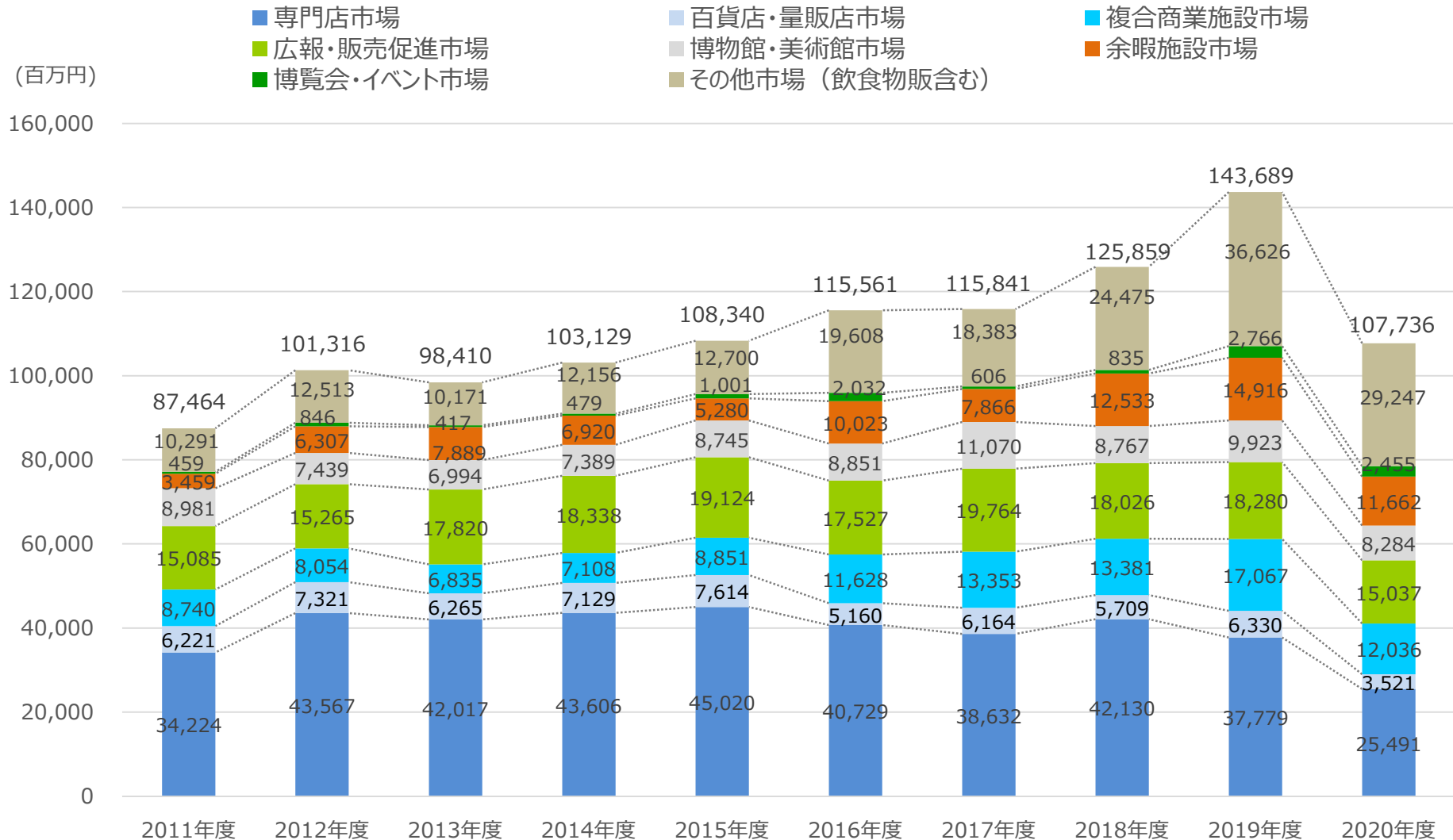


【通期推移】 受注高・受注残高



(注) 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載していません。

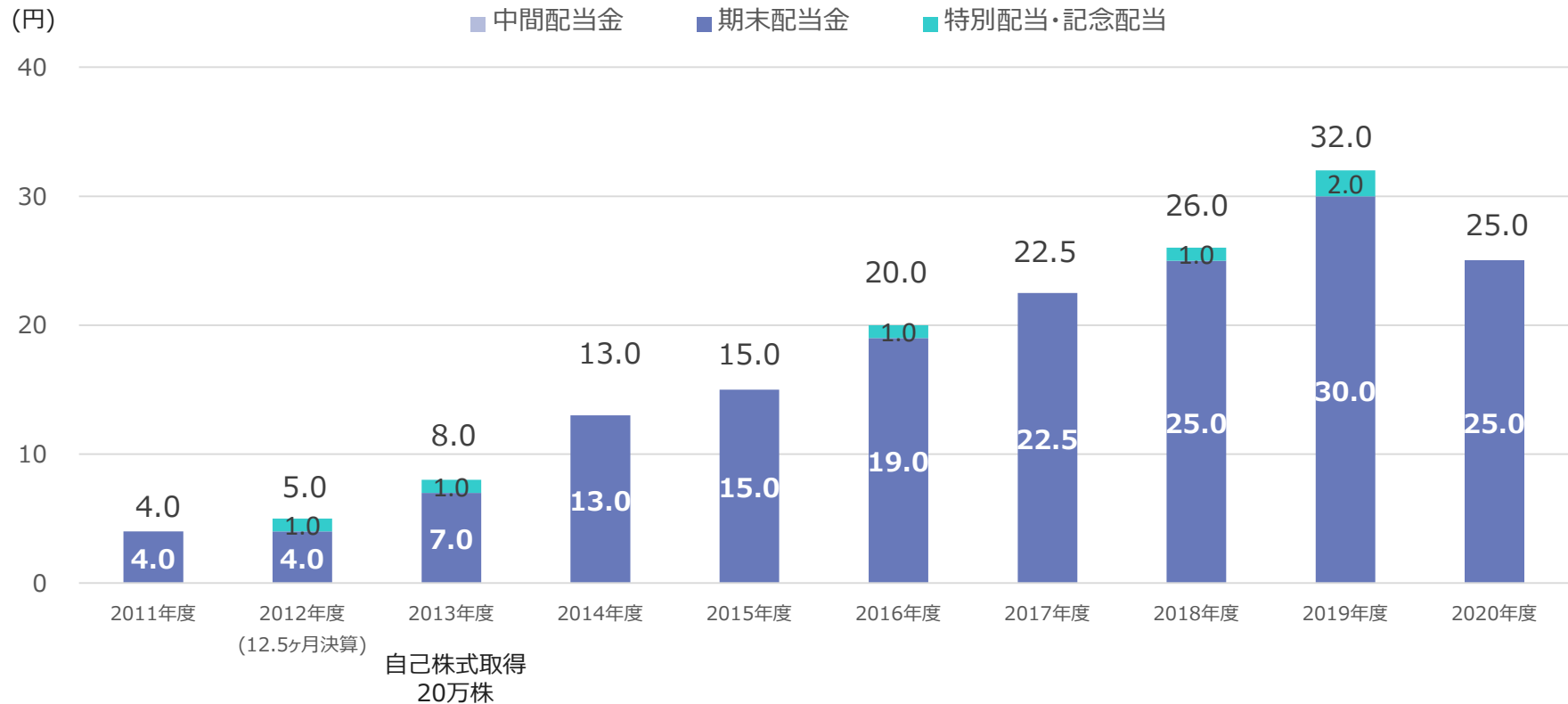
【通期推移】市場分野別 売上高



(注) 飲食・物販事業はその他市場に含み、掲載しています。

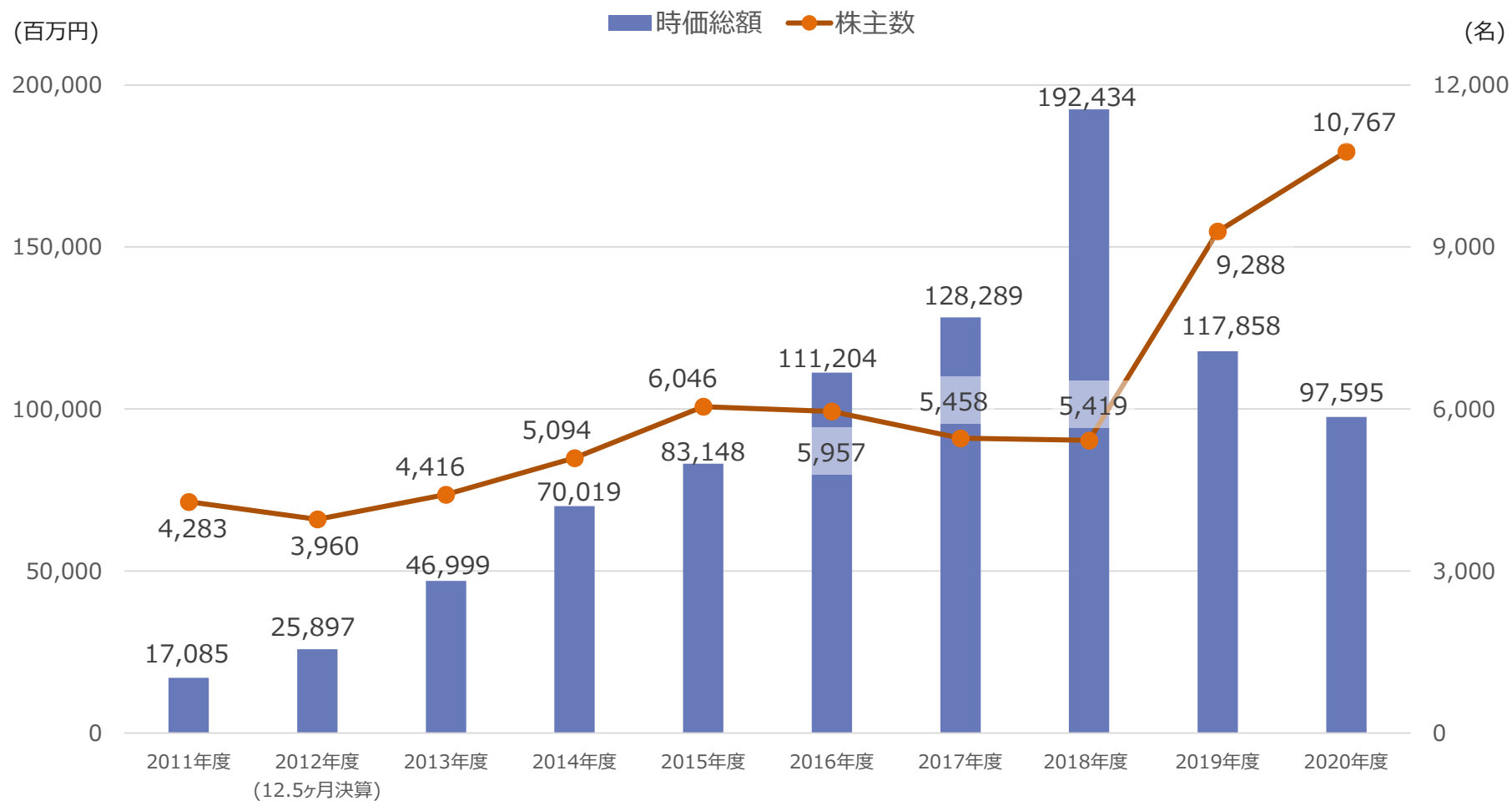
【株式情報】株主還元策と配当金の推移

※2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施。下記は2010年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して配当金、株価を算定。



配当性向	73.9%	44.9%	48.4%	45.3%	43.4%	44.0%	44.4%	42.9%	45.7%	90.6%
株価最高値	174.0円	221.0円	526.0円	608.0円	966.0円	995.0円	1,324.0円	1,667.5円	1,600.0円	1,031.0円
株価最安値	100.5円	114.0円	213.0円	332.5円	551.0円	663.5円	901.5円	1,017.5円	961.0円	642.0円

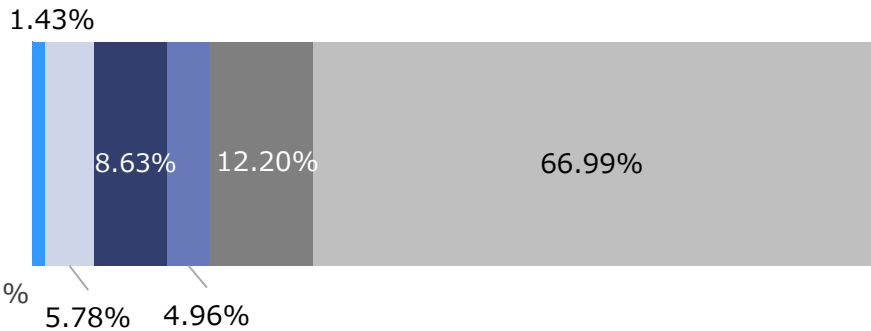
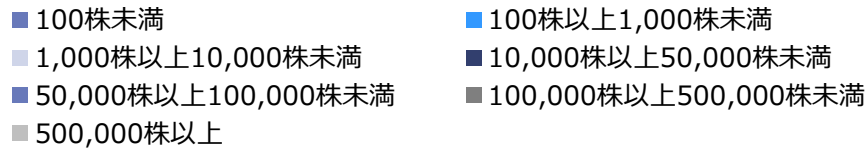
【株式情報】 時価総額と株主数の推移



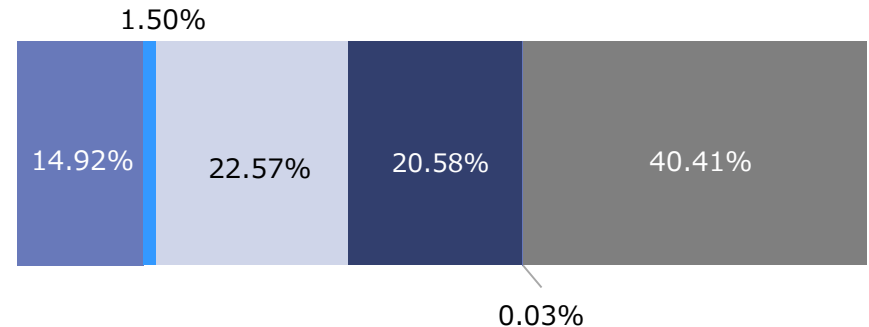
※各年度末における時価総額、株主数

【株式情報】株主構成 (2021年2月28日現在)

■ 所有株数別株式の分布状況



■ 所有者別株式の分布状況



100株未満	1,215名	10,272株
100株以上1,000株未満	6,384名	1,712,850株
1,000株以上10,000株未満	2,488名	6,928,007株
10,000株以上50,000株未満	487名	10,346,546株
50,000株以上100,000株未満	85名	5,948,545株
100,000株以上500,000株未満	72名	14,626,409株
500,000株以上	36名	80,323,959株
	10,767名	119,896,588株

外国人	225名	17,885,988株
証券会社	30名	1,796,019株
金融機関	30名	27,056,380株
その他法人	185名	24,668,804株
政府及び地方公共団体	1名	40,000株
個人・その他	10,296名	48,449,397株
	10,767名	119,896,588株

(注) 上記の分布状況はいずれも自己株式数を含んでいます。

3. 当社グループの概要

われわれは、人間尊重に立脚し
新しい価値の創造によって
豊かな人間環境づくりに貢献する

ノムラのいう人間尊重とは

ノムラは、生活者である人間の多様な価値観に対応し、快い生活環境を創造する。
また、ノムラは社員の人間性を基盤にして、働きがいのある自己実現の場をつくりあげる。

ノムラのいう新しい価値の創造とは

ノムラは、人と人、人との、人と情報が交流する新たな機能と可能性を追求し、最適な集客貢献と空間創造を実現する。

ノムラが目指す企業像とは

ノムラのおくりだすものは、人間環境の質的向上をはかる生活文化そのものである。
ノムラはこの仕事を通じて、環境創造産業のリーダーとなる。

会社概要

創業 1892年(明治25年) 3月
設立 1942年(昭和17年) 12月
上場市場 東証1部(9716)
資本金 64億97百万円
売上高 1,077億36百万円(2020年度)
従業員数 (2021年2月末日現在)

乃村グループ全従業員2,594名(契約社員含む)
 連結2,004名(正社員) 単体1,360名(正社員)

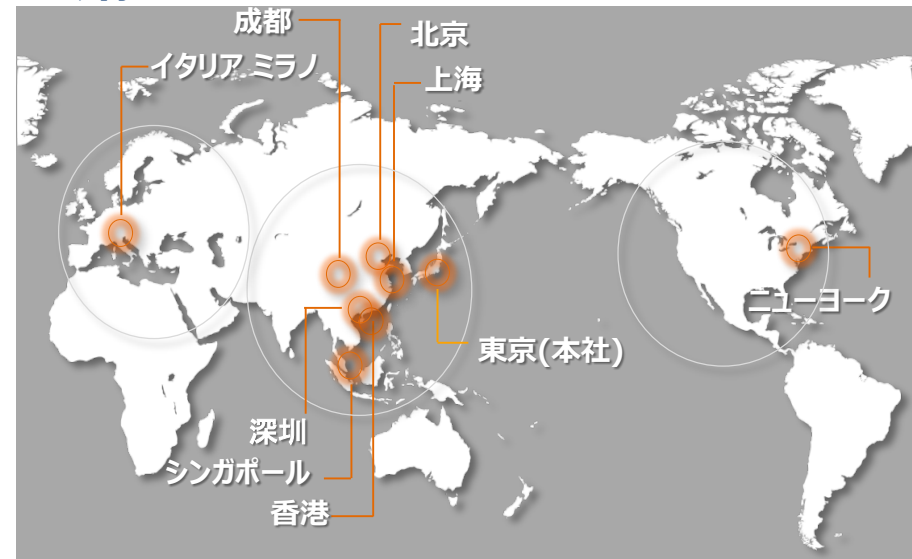
連結子会社 グループ会社10社
事業内容

ディ스플레이業 (※ 総務省 日本標準産業分類で定める事業)
 集客環境づくりの調査・コンサルティング、企画・デザイン、
 設計、制作施工ならびに各種施設・イベントの活性化、
 運営管理

国内拠点



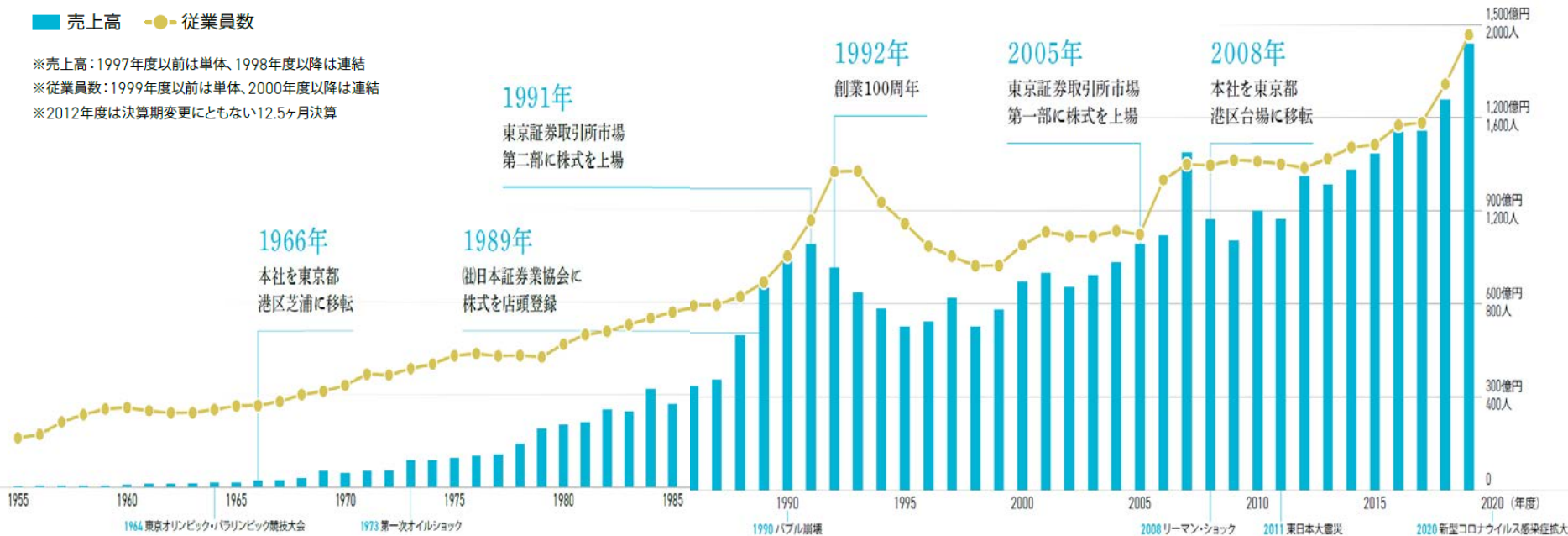
海外拠点



乃村工藝社の歴史

■ 売上高 ● 従業員数

※売上高：1997年度以前は単体、1998年度以降は連結
 ※従業員数：1999年度以前は単体、2000年度以降は連結
 ※2012年度は決算期変更にともない12.5ヶ月決算



1892年

乃村泰資が
高松で創業、
芝居小屋の
大道具方として活躍



創業者 乃村泰資

1892年～1945年

大衆娯楽から博覧会・
展示装飾への展開
イベント(菊人形・国技館や
靖国神社の催し・博覧会)・百貨店



菊人形「十二段返し」
1924年頃

1945年～1969年

経営近代化の始動と
ディスプレイ業の確立
百貨店・博覧会・美術展・
遊園地



高島屋大飯店の店頭装飾
1947年

1970年～1989年

事業拡大と
経営基盤の強化
万国博覧会・商業施設・博物館・
展示会・企業PR館・ショールーム



日本万国博覧会
1970年

1990年～2012年

市場環境の変動を超えて「選ばれるノムラ」へ

ブランドストア・チェーンストア・集客装置・指定管理者と運営事業・まちづくり



日テレ大時計(宮崎駿デザイン)
2006年

2013年～現在

Prosperity Partner

お客様の事業繁栄を実現するパートナーとして
複合商業施設・ホテル・テーマパーク・オフィス・
地域創生・デジタル分野

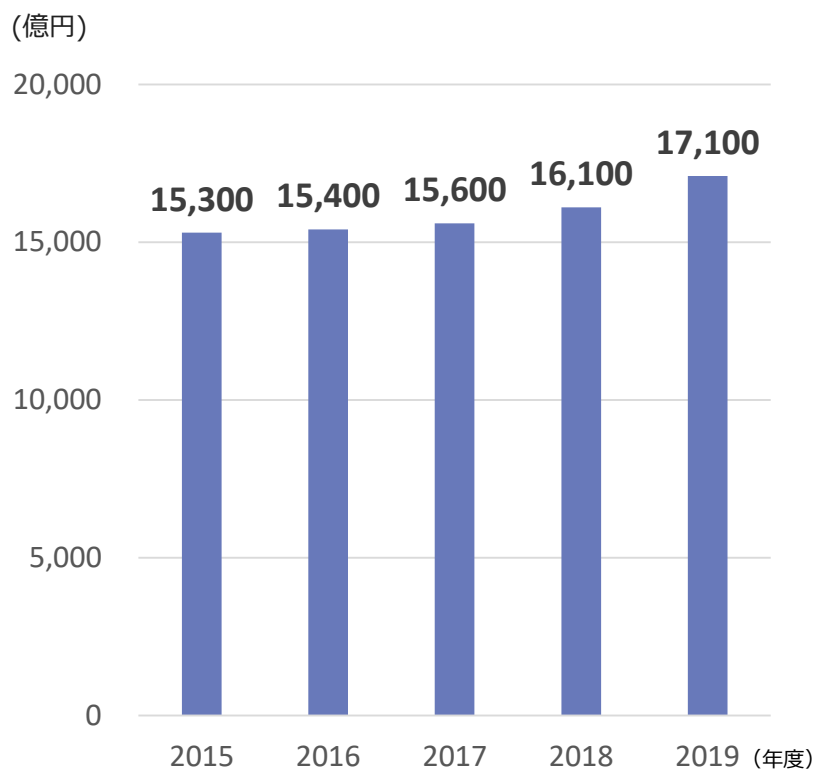


日本オリンピックミュージアム
(電通・乃村工藝社・電通ライブ コンソーシアム) 2019年

ディスプレイ業界を取り巻く市場環境

■ディスプレイ業界の市場規模

緩やかに拡大し、2019年度は1兆7,100億円



出典：(株)矢野経済研究所

■ディスプレイ業界の市場領域とそれを取り巻く業界

建設業、不動産業や広告業、イベント産業などの業界と密接に関係



ディスプレイ業界の市場シェア

売上を拡大し、業界トップシェアを堅持

【ディスプレイ業界上位30社の売上合計に占める上位10社の占有率】

2011年度				2015年度				2019年度			
順位	社名	売上高 (百万円)	占有率	順位	社名	売上高 (百万円)	占有率	順位	社名	売上高 (百万円)	占有率
1	乃村工藝社	87,464	15.0%	1	乃村工藝社	108,340	14.5%	1	乃村工藝社	143,689	16.5%
2	丹青社	52,049	8.9%	2	丹青社	67,612	9.0%	2	丹青社	81,678	9.4%
3	スペース	32,970	5.7%	3	スペース	51,371	6.9%	3	スペース	50,151	5.8%
4	J.フロント建装	29,261	5.0%	4	J.フロント建装	38,714	5.2%	4	J.フロント建装	44,819	5.1%
5	ゼニヤ (現・ジーク)	26,086	4.5%	5	三越伊勢丹 [®] DP [®] ティ・デザイン	34,138	4.6%	5	シミズオクト	41,968	4.8%
6	三井デザインテック	21,184	3.6%	6	ジーク	33,446	4.5%	6	ラックランド	40,366	4.6%
7	エイムクリエイツ	20,834	3.6%	7	シミズオクト	31,022	4.1%	7	三井デザインテック	38,471	4.4%
8	船場	20,169	3.5%	8	三井デザインテック	30,985	4.1%	8	高島屋 [®] -スクリエイト	36,365	4.2%
9	バウハウス丸栄	19,822	3.4%	9	船場	30,732	4.1%	9	ジーク	28,585	3.3%
10	高島屋 [®] -スクリエイト	19,075	3.3%	10	高島屋 [®] -スクリエイト	30,250	4.0%	10	船場	28,363	3.3%
上位30社の売上合計		582,384	100.0%	上位30社の売上合計		748,282	100.0%	上位30社の売上合計		871,356	100.0%

※ 上記は当社集計による数値です。

乃村工藝社の事業

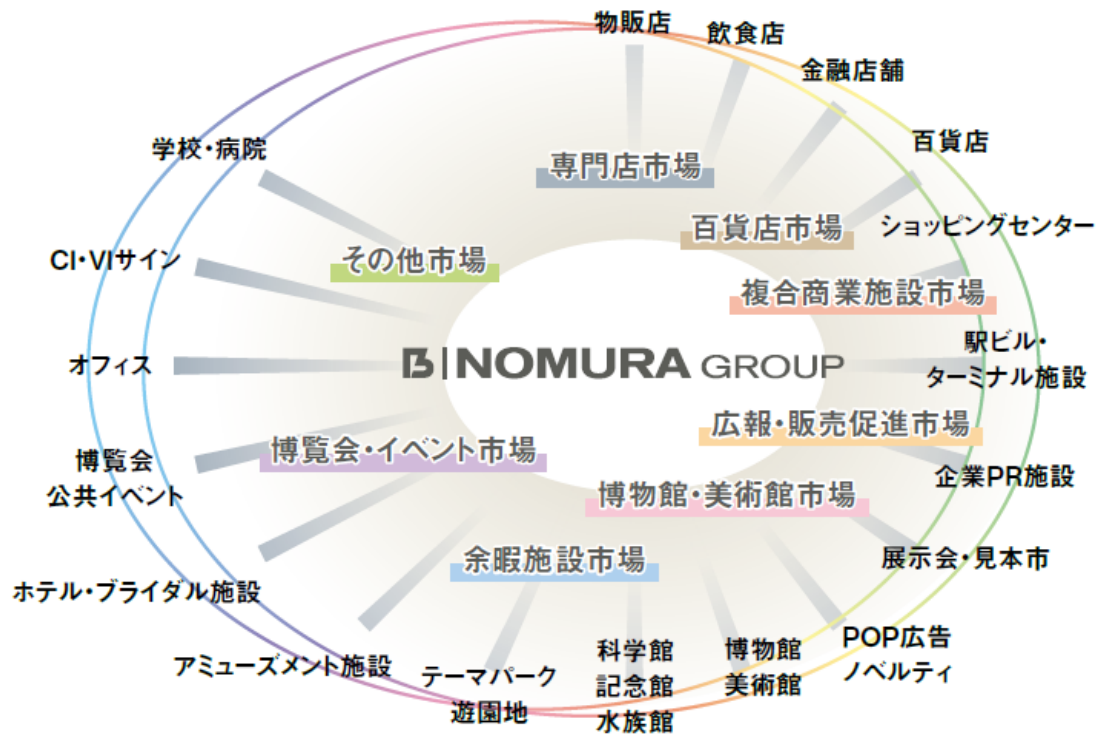
創業以来、約130年にわたり「人が集まる空間づくり」をプロデュースしてきた、 集客創造におけるプロデューサー集団

1

調査・企画
・コンサルティング

2

デザイン
・設計



3

制作・施工

4

運営管理

商業施設から、ホテルやオフィスなどの各種施設に加え、博物館・美術館、ショールームなどの展示、博覧会・イベントといったプロモーション分野まで幅広く展開

乃村工藝社の強み

業界No.1を創り出す3つの強み

① 総合力

国内外で、大型案件を企画から運営まで手掛けられる体制

- ・国内拠点 **9都市**
- ・海外拠点 **8都市**
- ・グループ会社 **10社**
- ・協力会社体制 **500社以上**

② クリエイティブカ

企画・デザインによる差別化

- ・プランナー&デザイナー **620名**
- ・一級建築士 **122名**
- ・デザインアワード受賞数 **50**

③ プロダクトカ

高品質を実現する制作体制

- ・プロダクトディレクター **570名**
- ・一級建築施工管理技士 **307名**

お客様からの高い信頼、安定した顧客群

年間のプロジェクト件数

11,826件

年間の顧客数

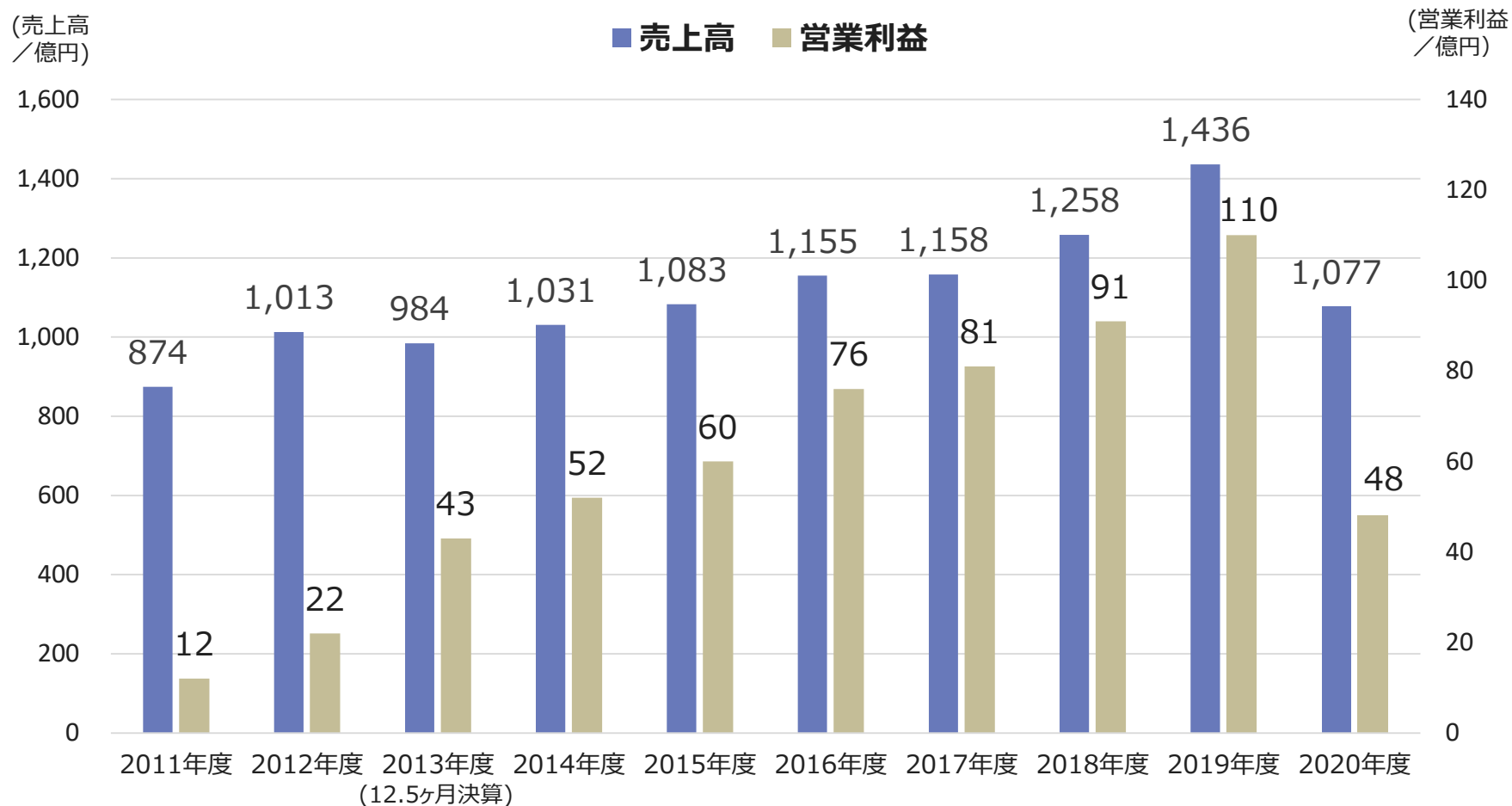
2,715社

継続顧客の比率

80.4%

各業界の主要
企業がお客様

通期業績の推移



■ 2011年3月
東日本大震災

■ 2013年9月
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会決定

■ 2020年
新型コロナウイルス
感染症拡大

■ 2012年5月
東京スカイツリー開業

■ 2016年 訪日外国人が
初めて2,000万人を突破

株式会社 乃村工藝社

(証券コード：9716)

<https://www.nomurakougei.co.jp/>

IR・株式に関するお問い合わせ

経営管理部

(ir@nomura-g.jp)